

そらぐみだより

認定こども園 すみれ幼稚園
2025 | 31

1年の中で最も寒い時期となりました。空気が乾燥しており体調を崩しやすい季節です。子どもたち、そして私たち自身共に体調管理に気を配りながら過ごして参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひします。1月は旧暦で「睦月(むつき)」とも呼ばれます。仲良く親しむことを意味する「睦む(むむ)」という言葉から、お正月に家族や親類が仲良く過ごす姿を表したことが由来とも言われています。良い言葉ですね。この機会に子どもたちにも伝えていこうと思います。私たち大人は年代わりで新しい気持ちに切り替わった感じがしていますが、子どもたちは日々新しい気持ちで過ごしているのに見えます。1日1日の成長が頼もしいですね。



お正月に神社へ初詣へ行ってきました。神社へ行ってお祈りしてきたんですよ。こうやってやるよと教えてくれた。今年もみんなが幸せに過ごせますように...



こおりができたよと〜もつめた〜



こまに色をつけてみるとどうかな〜



こうやってまわすとうまくまわるよ 2人で作戦会議です。



ふくわらいに挑戦！みんなが応援したいわ



手作りの人玉なかなか上手に入りません



かたてり次はどれかな？



お手玉を使って遊んでいます。頭に乘せたり、手にのせたり...



シリコンゴムを使って顔を作っています。



おもちゃつきは 杵(きね) 臼(うす)を使ってこうやってやるんだよ



外でやっているおもちゃつきの光景にきざりかおっています。



おもちゃつきをやってみるのではありませんが、お部屋で練習して見に行きます。気分はあがりつきです。



ベイトン、ベイトン子どもたち同士でもつき手、かえ手の役割ができます



友だちのおもちゃの横に音頭をしてくれました



おもちゃが楽しくて表現の場

子どもの成長の中でイヤイヤ期と言われる時期を魔の2歳と言ったりします。この時期は子どもの成長にとってセルフコントロール(自分の行動や感情、思考を調整して望ましい結果に導く能力)を覚える大切な時です。大人は大人のルールに従わせるのではなく「〇〇だね。そうだね」とオウム返し的にでも子どもの気持ちを受け止め、子どもの遊んだ、気持ちを理解し信頼関係を確立し、上で「でも...」と大人の都合を説明するようになります。魔の2歳は大人の知識で乗り切ることで、まずは子どもの気持ちを受け止めることが大切です。

夜なかなか寝てくれないという悩みを聞くことがあります。絵本を読んだら寝てくれる...という絵本はありません。あったとしてもその子は絵本に興味を持たなくなってしまう。大人もリラックスして、早寝早起きして昼間にたくさん遊ぶことで生活リズムが確立してきた子は、良い絵本を読んだ後は自然に眠ります。また寝る前には何冊読むかを決めておくのも一つの考えです。ゆとりゆとり歌を歌ってあげると大人もリラックスし、大人が緊張を解くと自然に子どもも眠りに着くこともあります。どのような状況でもイヤイヤ期の頃は上手にいかなくて当然で思いついたらかまえておくようにしましょう。

特効薬は生活リズムの確立です。

そらぐみで過ごすのもあと2ヶ月となります。4月からは幼児クラスのお部屋での生活になります。その子も自然な流れで移行して欲しいと思います。そんな子どもたちをさらにあたたかいまなざしで見守っていきます。